

やばい日本の食！非難を浴びるかもしれませんが近年、突然切れる、身体が悪い、ストレスが溜まっているのか変な言動をする人、アトピーやアレルギーの人が多いな~と思っていた時に飛び込んできた情報として。

現代の食料品は化学薬品でなんでも再現できるという話です、これは合成食品を作った第一人者が時間と共に人間の体に現れる症状が分かってきて、悪い物つくってしまったと悔い改め警鐘を鳴らしています。 YouTube なんかでも出てきますのお調べください、一部だけ抜粋しておきます。

◆亜硝酸ナトリウム（ウインナー、ハム、明太子 ・パック野菜など）は発ガン性、うつ症状、頭痛、記憶障害など

◆安息香酸 Na（清涼飲料水、栄養ドリンク、シロップ・醤油や酢にも入っている場合あり）は発ガン性、神経障害、細胞の突然変異、めまいなど

◆グルタミン酸ナトリウム（だし用パウダー、加工食品全般） 知能障害、発達障害、うつ病、めまい、不眠症、内臓疾患、ホルモン異常など

◆OPP 防カビ剤（輸入かんきつ類の他に、キュウリ、ニンジン、リンゴ、メロン、トマト、マクワウリ） 発ガン性、胎児の先天性障害、染色体異常、肝臓障害など

これは食べる物が無い時代で、多くの日本人が飢えないための仕方ない仕組みでもあった事象だと考えます、但しこれからは気付いた人から「食は身体をつくる、肉体は全て食べ物から形成されている」を理解し、口に入れるものを一から見直す時代に来たのではないでしょう。 多くの人々がそちらの方向に向くことにより世の中も、農業も変わるものだと信じています。

◆身体の細胞の仕組みについて簡単に

- ・皮膚は 28 日サイクル
- ・胃や腸は 40 日サイクル
- ・血液は 127 日サイクル
- ・骨は 200 日サイクル
- ・肝臓・腎臓は 200 日サイクルで、細胞が入れ替わるとされています。

細胞は日々生まれ変わり、新しいものになっているので数か月、数年もすればほとんどの細胞は入れ替わっています。

以上の観点から今回の活動に大きく賛同します、無施肥農法は虫もつけば、気象で枯れる事もあり、美味しい野菜や果物だからこそ害獣の被害もあいやすい、形も不ぞろいになってしまったり、手間とロスとコストがかかってし

まうものです、そこで口スを減らす為もありますが、自分の身体の健康に良い野菜や果物を届けてもらい、みんなが無駄なく消費する流通の確保は今はずりの SDGS でもあります。

また農家の苦勞と将来の勉強の為と思い、農業体験もとても良い機会を与えてくれていると感じます。

土いじりは健康にも良く実際、私も庭で 10 種ほどの野菜を無農薬で育てた事があり、当時は 4 人家族が夏場一切スーパーで野菜を買わないどころか、冷蔵庫に入れる前の味の落ちていない、美味しい野菜で毎日魅了されていました、そして土と触れ合う事による自然との対話、毎日変わる新しい事象などは、地球に住んでるな〜と、とても体感できる良い経験ができました。

各家庭が小さくても良いから畑を持つのが環境や物流に対しても地球規模で見ると無駄なく良い事だと推薦しますが、街の生活も便利ではありますので街の人はいっぱい儲けて、元気な身体を維持してくれる農家さんに還元するのは役割分担として、とっても意義ある行為であると考えます。 現在農家が減っていつてはおりますが、こうやって Nora Works さんのように意義ある活動を行う者が継続的に続けることが出来る社会となるように、人間たちがまた自然回帰する時が来て、地球と人間が良いバランスを保てることを祈ります。

一般社団法人フィランソロピー研究所 代表理事 磯 日彦

